

Johannes Brahms (1833～1897)

ブラームス 最終章

作品 119, 120, 121

4つのピアノ小品 作品 119

Vier Klaviertücke, Op. 119

クラリネット・ソナタ 変ホ長調 作品 120-2

Sonate für Klavier und Klarinette Nr.2 Es-dur Op. 120-2

4つの厳粛な歌 作品 121

Vier ernste Gesänge, Op. 121

最後の言葉、
最後の響き



2025.4.25 [金] ルーテル市ヶ谷ホール

19:00 開演 | 18:30 開場

- 一般前売 4,500円 / 当日 5,000円 | 学生(U25) 2,000円
- 座席指定券 6,000円 (好きなお席を選べます。音音工房 HPよりお申込ください)

QRコードチケット <https://teket.jp/6264/42747> 紙チケット | 座席指定券 <https://x.gd/aPoEN>

【後援】一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

【主催・お問い合わせ】音音工房合同会社 (HP) www.otonekobo.com | (E-mail) otonekobo@gmail.com

*未就学児のご入場はご遠慮ください | 学生券をご購入の方は学生証をお持ちください | 公演中止以外でのチケットのキャンセル、変更等はお受けできません。予めご了承ください



これで私の音符に別れを告げたい

作品111の弦楽五重奏曲に添えられた出版社宛の手紙には、こう記されていました。ブラームス57歳。作曲意欲は衰え終活に取りかかっていたそうです。彼の心を再燃させたのは、クラリネット奏者の名手・ミュールフェルト。作品114のクラリネット三重奏曲を皮切りに、最後の名曲群が生まれます。ブラームス最後のピアノ曲、最後の器楽ソナタ、最後の歌曲。古典派の様式美と調和の取れた和声の上に作曲を続けた、ブラームス最後の境地をお届けします。

吉川裕之 (よしかわひろゆき・クラリネット)

神奈川県三浦市出身。高校卒業後渡仏。フランス国立リュエイエ＝マルメゾン音楽院クラリネット科をブルミエプリを得て卒業後、フランス国立オーベルヴィリエ・ラクールヌーヴ音楽院バスクラリネット科をブルミエプリ、室内楽科を満場一致のブルミエプリ及び審査員特別賞を得て卒業。これまでにクラリネットを松本健司、伊藤寛隆、エマニュエルヌヴェー、ミシェルアリニョン、フローランエオー、アランダミアン、ヴァレリー・ゲルーの各氏に師事。2002年に長野県で行われた欧日音楽講座にて奨励賞を受賞。2007年にパリで行われたUFAM国際音楽コンクールにて2位受賞。現在、東京成徳大学にて非常勤講師を勤める。

藪内俊弥 (やぶうちとしや・バリトン)

東京藝術大学大学院修士課程修了。第12回日仏声楽コンクール第二位。第23回奏楽堂日本歌曲コンクール第二位。第九、メサイア、パッサ等の宗教曲のソリストや、モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」「フィガロの結婚」をはじめ、様々なオペラに出演。2008年、ザルツブルクに於いてイェルク・デームス氏の講習を受講。ミラベル宮殿にてシューマン「詩人の恋」を共演。2018年、二期会本公演ウェーバー「魔弾の射手」オットカール役で二期会デビュー。二期会会員。日本声楽アカデミー会員。聖徳大学音楽学部兼任講師。

朴 令鈴 (ぱくりんりん・ピアノ)

桐朋学園大学を経て同大学研究科を修了。主に声楽の共演ピアニストとして、コンサートやオペラ公演で活躍。また音楽スタッフとして新国立劇場や二期会研修所、桐朋学園大学、国立音楽大学大学院に携わっている。一方、音音工房代表として様々なコンサートをプロデュース。ドイツ歌曲シリーズ『おととおと』、日本歌曲の歌謡ショー『日本歌曲大全集』、様々な言語の饗宴「歌曲・ガラコンサート」等を主催し公演を重ねている。奏楽堂日本歌曲コンクール、日本音楽コンクールなどで共演者賞を受賞。リリースCDに「サロメーR.シュトラウス作品集」(ステレオ誌特選ほか)、日本歌曲アルバム「南天の花」(レコード芸術特選ほか)など。



最後の言葉、最後の響き

ブラームス最終章

PROGRAM

4つのピアノ小品 作品119

Vier Klavierstücke, Op. 119

1. 間奏曲 短調 Intermezzo, h-moll
2. 間奏曲 短調 Intermezzo, e-moll
3. 間奏曲 長調 Intermezzo, C-dur
4. 狂詩曲 変ホ長調 Rhapsodie, Es-dur

クラリネット・ソナタ 変ホ長調 作品120-2

Sonate für Klavier und Klarinette Nr. 2 Es-dur Op. 120-2

- 第1楽章 アレグロ・アマービレ 変ホ長調 Allegro amabile, Es-dur
- 第2楽章 アレグロ・アパッショナート 変ホ短調 Allegro appassionato, es-moll
- 第3楽章 アンダンテ・コン・モート〜アレグロ 変ホ長調 Andante con moto ~ Allegro, Es-dur

4つの厳粛な歌 作品121

Vier ernste Gesänge, Op. 121

- 第1曲 人の子らの運命と動物の運命は同じであり
Denn es gehet dem Menschen
- 第2曲 私は再び太陽の下で行われるあらゆる虐げを見た
Ich wandte mich, und sahe an
- 第3曲 ああ死よ、お前を思い出すのはなんとつらいことか
O Tod, wie bitter bist du
- 第4曲 たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも
Wenn ich mit Menschen

音音工房のシリーズ『おととおと』

2011年から続くドイツ歌曲のコンサートシリーズ。今回が第19回となります。毎回テーマを持ったプログラムで「ドイツ語でも楽しめる!」を実現する工夫を凝らしたコンサートを展開しています。

これまでの演奏会

「シューベルト3大歌曲集」「饗宴R.シュトラウス〜器楽と歌と」
「山田耕筈とR.シュトラウス〜バラの花に心を込めて」「拝啓、ゲーテ様」
「絵本仕立ての演奏会〜マラー：少年の魔法の角笛」他



ホームページ



YouTube

主催：音音工房合同会社